



平成19年
5月15日号

No.82

●毎月5・15・25日発行

広報

かもがわ

- 編集発行・鴨川市総務部企画財政課 広報広聴係
- 電話・04(7093)7842
- FAX・04(7093)7850
- 住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450
- ホームページ
http://www.city.kamogawa.lg.jp/



親子で田植え体験に挑戦

何度でも訪れたいまちへ

魅力的な観光地づくりの基本計画ができました

参加・体験型メニューで新しい旅の楽しみ方を提案

市ではこのほど、「観光振興基本計画」を策定しました。自然と歴史を活かした観光・交流都市をめざすこの計画は、「参加・体験型の観光」ができる暮らし創造型を基本理念に、地域の特徴を生かしたさまざまなアイデアを盛り込んでいます。今後は、従来の施設型観光や史跡・名所巡り、100を超える豊富な参加・体験メニューのほか、城西国際大学観光学部を交えた産・学・民・官の連携、さらに観光客を温かく迎え入れる皆さん一人ひとりの「もてなしの心」を合わせて、何度でも訪れてもらえる新しいタイプの観光都市「鴨川」を創りあげていきます。

このほど策定された「鴨川市観光振興基本計画」は、「鴨川ホリスティックツーリズム計画」とも呼ばれます。ホリスティックは「全体」、ツーリズムは「参加・体験型観光」を表し、全体では環境や癒やし・交流など広い視野から新しい観光を考へることを意味します。計画では、鴨川を「何度でも訪れたい魅力的な観光地」にすることを目標に掲げています。重点事業としては、観光ガイドをはじめとする人材・組織の育成、ツーリズム資源の情報管理、ホームページの整備などを盛り込んでいます。

もちろん、これらの事業を効果的に進めるうえで、市民・地域・観光関係者・観光客・市・研究者の相互協力と連携は欠かせません。それぞれが担う役割は、別表①のとおり。市民皆さんには、地域の魅力や旬の情報を提供する「ガイド」としての役割が期待されています。

鴨川らしさを生かす「4つのツーリズム」

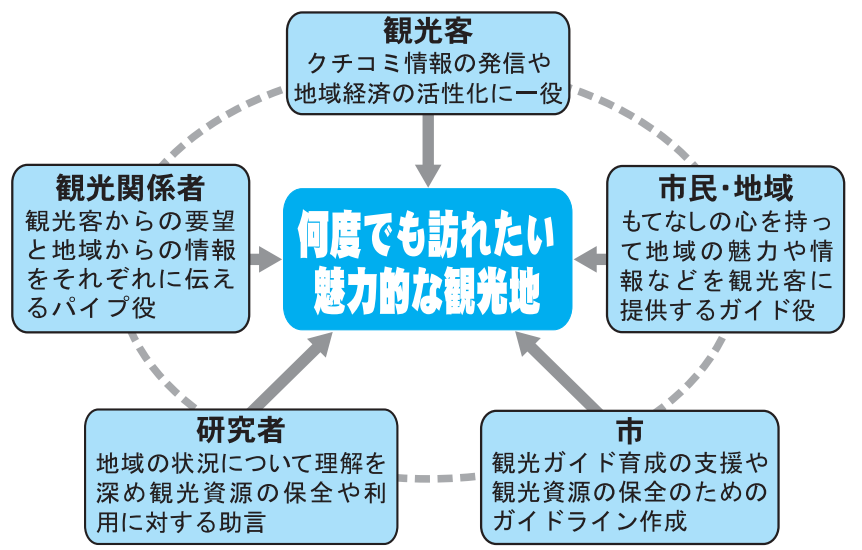
「訪問地の歴史や文化に触れたい」「自然の中でのんびりしたい」。近年の多様化する余暇ニーズは、豊富な観光メニューを持つ

鴨川にとって力強い追い風となります。この計画では、このようなニーズに対応するため、①「観るツーリズム」、②「カルチャーツーリズム」、③「カントリーツーリズム」、④「エコツーリズム」を展開。従来の施設見学スタイルなどに加え、地域の暮らし体験、豊富な自然という鴨川らしさを生かした4つの参加・体験型の観光を提供していきます。(別表②)

今も昔も変わらない「もてなしの心」の大切さ

旅先で交わす地元の方とのあいさつや会話、何よりも旅を思い出深くしてくれることがあります。時代とともに観光スタイルが変わっても、お客様を迎える「もてなしの心」の大切さは変わりません。2月から4月まで開催された「ちばデザインেশョンキャンペーン」は、県内全域でイベントを展開し、多くの観光客を引きつけました。このキャンペーンを一過性のもの終わらせず、リピーターを含めた観光客を増やすには、市民皆さんが鴨川の魅力を見つめ直し、その魅力を温かい言葉に乗せて観光客に伝えることが大切です。

市民・地域・観光関係者・市などの役割 (別表①)



バラエティー豊かな体験メニュー「4つのツーリズム」で展開 (別表②)

- 観るツーリズム (じっくり本物に迫る) = これまでの「観光」の系統を受け継ぎ、見ることやレジャー面が強い旅行
 - ▷里山ウォーキング・サーフィン体験・カッター体験・スノーケリング体験など
- カルチュラルツーリズム (歴史を見つめ明日を切り開く) = 歴史文化を活用して生き方を見つめ直すとともに、明日への暮らしを創造する旅行
 - ▷萬祝染め体験・藍染ハンカチ絞り染め・七宝焼など
- カントリーツーリズム (暮らしに楽しみ、暮らしをつくる) = 農・漁村での体験や地域の暮らしを体験する旅行
 - ▷田植え・稲刈り・花摘み・陶芸・草木染め教室・そば打ち教室・イチゴ狩り・地引き網・せんべい焼きなど
- エコツーリズム (自然や地域の個性を守り・育てる) = 自然豊かな場所を訪れることで感動を味わい楽しむほか、自然環境の保全や再生などについて考える旅行
 - ▷星の観察会・自然観察会・ホタル観察会など

全国に一人でも多くの鴨川ファンを増やすためのこの計画がめざす新しい観光地づくりに、皆さんもご協力ください。 ※計画は、市役所1階の市政情報コーナーで閲覧できます。詳しくは、市商工観光課(☎7093)7837)

6月から「広報かもがわ」がA4判に 5月25日号は休刊します

市民皆さんと行政をつなぐ「広報かもがわ」が、6月からリニューアルします。新しい広報誌は、A4判の冊子タイプ。発行回数は月2回で、毎月1日と15日に発行していきます。この見直しにより、文字のサイズを大きくするなど、よりわかりやすく親しみやすい紙面にしていきます。配布方法(新聞折込)はこれまでどおりです。なお、次の5月25日号は休刊します。 ※問い合わせは、企画財政課広報広聴係(☎7093)7842)へ

6/3(日)「ふるさといきいきシーフェスタ2007 in kamogawa」

6月3日(日)に「ふるさといきいきシーフェスタ2007 in kamogawa」が、前原海岸の潮さい公園などを舞台に開催されます。

- ▷砂浜ステージ なぎさの結婚式、地元団体のステージショー、獣拳戦隊ゲキレンジャーショーなど
- ▷プロムナード 地場産品の販売、ふるさといきいき商店街、ビーチサッカー・ビーチラグビー・サーフィン大会、キッズパークなど

 ※詳しくは、市商工観光課内の海まつり鴨川実行委員会(☎7093)7837)へ

城西国際大学の「国際講座」 6月2日(土)午後2時から城西国際大学観光学部。インターネット回線を使った「遠隔講座」の放映。テーマは「日本の陶磁器の魅力と海外への影響」。聴講は無料。申し込みは同大学観光学部(☎7098)2800)へ。

として保存しましょう